



発行者  
 社団法人 静岡県珠算協会  
 社団法人 全国珠算教育連盟静岡支部  
 (静岡市駿河区八幡2丁目)  
 発行人 中林正隆  
 編集人 深澤好胖  
 印刷所 大多和印刷所



## 再任のご挨拶

中林 正隆

前期に引き続き、会長(支部長)に、就任することになりました。

よろしくご指導、ご協力の程お願い申し上げます。

去る三月十一日、未曾有の大災害が東日本を襲い、多くの全珠連の会員が被災いたしました。

心からお見舞い申し上げます。これに対し本部より義援金拠出の要請を受け、本県では、皆様の浄財百四十万円を贈ることが出来ました。

ご協力有難うございました。全珠連では、義援金三千万円、本部会計で三千万円、教職者共済会から三千万円を、会員被災者に援助することになりました。

被災された方々から全珠連に入っ

また、珠算学習者支援に、不要になっ

ているそろばんを寄贈してほしいと依頼が寄せられております。ご協力をお願いいたします。

本年の最大行事は、本県支部担当の全国珠算研究会です。十二月二十四日から二十六日にかけて静岡文化会館で、理事会、理事支部長連絡協議会、珠算教養講座に引き続き開催されます。

準備委員会では本部のご指導のもと着々と準備を進めております。

東日本震災直後のことでもあり、対応策を真剣に検討したいと思っております。

年末の多忙の折ではございますが、皆様のご協力をお願いいたします。公益法人制度対策について、本部で

は、二十三年度中に申請を目標に進めております。

静珠協では定款素案を作成しましたが、全珠連との関連で大きな問題が浮上して参りました。

全珠連では、本部支部一体会計を目指し、支部に対する検定交付金をはじめとして、他の補助金等について、その使途明細の報告により交付金・補助金を相殺する方式を採ることになりました。その為、他の支部独自の事業及び会計は任意団体を設立し施行することとなりました。

本県では、社団法人静岡県珠算協会があり、実態として全珠連と表裏一体の行動をして来まされたことは皆様周知の事実であります。

静岡県珠算協会は、昭和十七年九月創立、昭和二十五年七月、静岡県より社団法人を許可されました。

昭和二十八年九月、全国珠算教育連盟創立を受け、昭和二十九年一月、遠州珠算振興会会員が珠算協に加入し、静岡県一本化を達成の上、静珠協会員百十六名全員が全珠連に加入、静岡県支部を設立いたしました。

爾来、静珠協は全珠連静岡県支部と、表裏一体の活動を行い、両団体同時加入を踏襲して参りました。

静珠協の公益認定申請に当り、静珠協会員が全珠連に全員団体加入した原点、その活動実態を踏まえ、静珠協の事業に、全珠連の検定及び他の事業を

加え一体化した事業として申請作業を進める所存です。

皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

平成二十二年度、全珠連では検定試験受験者が僅かながら増加傾向に転じており、更に特筆すべきは会員が増加している事です。

それに引換え、本県では高齢化に伴う退会者増と入会者の少ないことが原因で、減少を続けており、各地で問題になっております。

珠算教室の減少で、そろばん教室のない地域、そろばん砂漠が各所に現出し学習希望者があってもそれに答えられないで口惜しい思いをすることが重なっております。

開塾希望者からの照会もありますので、希望者に対する講習会の開催を実現させたいと思います。

地区統合問題については、永年にわたるしがらみもあり実現に至っておりません。

役員問題も含め、新たな視点に立った発想をもって改革を図らなければなりません。

難問山積ではありますが、会員皆様のご支援をお願いいたします。

